（様式３）

令和７年度　　学校関係者評価報告書

大阪市立福小学校　学校協議会

1　総括についての評価

- 学力向上についてさらに取り組み、学校の特色である少人数の良さを活かし、きめ細かい指導を行ってほしい。計画達成に向けて、家庭・地域も協力していく。
- 家庭の協力や学校での取組みで、きまりをまもる態度が良くなってきている。地域でも挨拶を元気に返してくれる。不登校児童も地域で引き続き見守っていきたい。
- 持ち帰りになった一人一台タブレット端末の活用の工夫を各家庭に啓発する。

2　中期目標及び年度目標の評価

中期目標：**【安心・安全な教育の推進】**

○　令和７年度の全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、90%以上にする。

○　令和７年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、92%以上にする。

- 令和７年度の全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、87.5%と目標を下回った。（目標 90%）
- 令和７年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、95.8%と目標を上回った。（目標 92%）

中期目標：**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○　令和７年度の全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、45%以上にする。

○　令和７年度の全国学力・学習状況調査における国語の平均正答率の対全国比を 1.00 にする。

○　令和７年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を、80%以上にする

- 令和７年度の全国学力・学習状況調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合は、56.3%と目標を上回った。（目標 45%）
- 令和７年度の全国学力・学習状況調査における国語の平均正答率の対全国比は、0.94 と目標を

下回った。（目標 1.00） ・　令和７年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は、75%と目標を下回った。（目標 80%）
中期目標：**【学びを支える教育環境の充実】**
○　授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が年間の授業日の 83%以上にする。 ○　第２期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準２を満たす教職員の割合を 100%にする。
・　令和７年度の授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が年間の授業日の 92.7%と目標を上回った。（目標 80%） ・　第２期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準２を満たす教職員の割合は 100%と目標通りであった。（目標 100%）

年度目標：**【安心・安全な教育の推進】**
○　小学校学力経年調査における「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童(生徒)の割合を、86%以上にする。 ○　小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を、82%以上にする。
・　令和７年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり(規則)を守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は、95.6%と目標を上回った。（目標 92%） ・　小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的な「思う」と回答する児童の割合は、79.2%と目標を下回った。（目標 82%）
年度目標：**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**
○　小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合を、44%以上にする。 ○　小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント向上させる。 ○　小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を、80%以上にする。

・　小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の項目について、最も肯定的に答える児童の割合は、52.1％と目標を上回った。（目標 44％） ・　小学校学力経年調査における国語の平均正答率の対全国比を同一母集団において経年的に比較し、４年生は 0.1 ポイント、５年生は 0.2 ポイント上回ったが、6 年生は 3.5 ポイント下回った。 ・　小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合は 84.1％と目標を上回った。(目標 80％)
年度目標：**【学びを支える教育環境の充実】**
○　授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が年間の授業日の 83%以上にする。 ○　第２期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準２を満たす教職員の割合を 100％にする。
・　授業日において、児童の８割以上が学習者用端末を活用した日数が年間の授業日の 92.7％と目標を上回った。（目標 83％） ・　第２期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準２を満たす教職員の割合は 100％と目標通りであった。（目標 100％）

３　今後の学校園の運営についての意見

- タブレットを使った授業や、ペアやグループ、学級全体で意見を交流し、仲間と対話する機会を学習活動に取り入れた授業の工夫を今後も継続していただきたい。
- いじめアンケートを毎月実施し、一人一人がいじめをもっと身近な自分事として考え、全校児童が「いじめはどんな理由があっても許されるものではない」という強い気持ちをもつ意識が高まっている。学校が安心・安全なみんなの居場所になるように今後も継続して取り組んでいただきたい。
- 自分にもっと自信をもつことができるように、たてわり班活動を中心に、自尊感情・自己有用感を高める取り組みを次年度以降、より一層進めてほしい。
- 運動遊びやスポーツが好きと肯定的に回答をしている児童が多数を占めるが、進んで運動に取り組み、自己の体力の向上を図ることができる運動遊びを体験できるよう、体育科や集会活動、運動週間の工夫を継続していただきたい。